

土浦市行財政集中改革プランの概要

1 概要

これまでの個別的な取組を集約する「行財政改革大綱」の取組に代わり、行財政経営の基本的な構造や手続手法など、全庁に影響のある事項について、短時間で集中的に取り組むための「行財政集中改革プラン」を策定し取組みを進めています。

2 行財政集中改革プランについて

(1) 計画期間

令和6年度～8年度まで(3年間)の短期プラン

(2) 取組の視点

行財政集中改革プランの取組の視点は「市の有する資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の質の向上と最大限の活用」

(3) 計画の構成

行財政改革の視点で取組を検討すべき課題に対し、特に喫緊に取り組むべき課題や複数の検討課題に効果があると考えられる「重点取組項目」を定め、これらについて実施目標を設定しました。

(4) 重点取組項目

ア 業務プロセスの見直し

全庁の業務における手続き(業務プロセス)の棚卸し、業務量の把握を通して、適切な人員配置や業務量の圧縮・平準化を図ります。

イ 政策におけるデータ利活用の推進

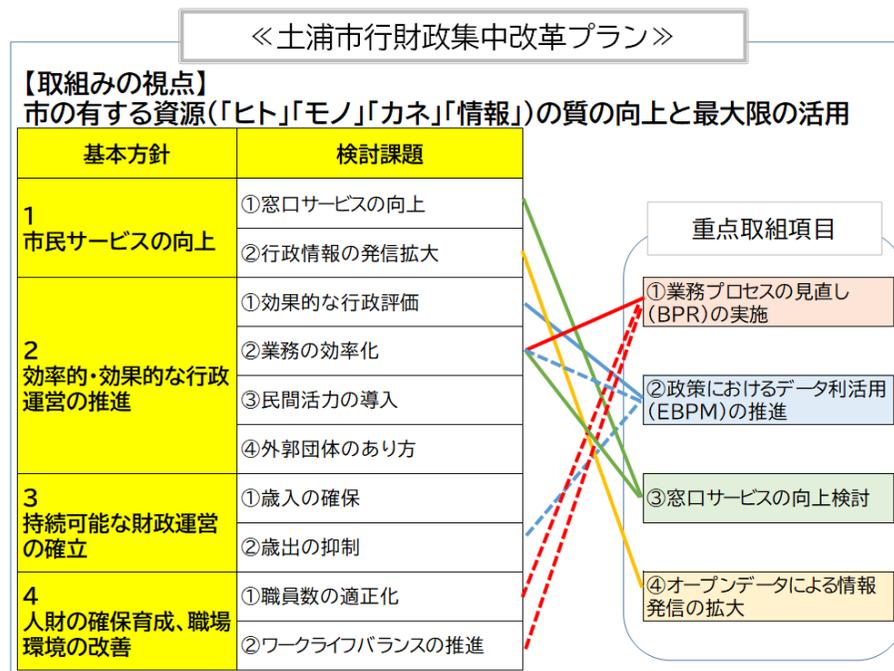
政策立案に関する課題整理、施策検討においてデータを活用することにより、より効果的な施策検討、計画立案、既存事業の効果向上を図ります。

ウ 窓口サービスの向上検討

「ア 業務プロセスの見直し」による手順の見直しを踏まえ、デジタルを活用する等の方法により、窓口サービスの向上を検討します。

エ オープンデータの発信拡大

自治体オープンデータの発信を拡大することにより、市政情報の発信、市の状況発信の向上を目指します。



土浦市行財政集中改革プラン実行計画:令和6年度の進捗状況と今後の事業計画

想定される改革項目	目標	R6	R7	R8
①業務プロセスの見直し(BPR)の実施	・消防本部を除く市各課における時間外勤務時間数(平均値)の5%縮減	○各事務・事業(合計4390件)の業務量把握、業務内容整理 →業務行程調査を実施、各事業の業務量把握 ○職員の担うべき業務の整理 →コア業務、ノンコア業務の分析 ○代替手段の整理検討 →WTにより業務改善案を検討中	・一部事務での圧縮後手順に基づく事業開始、効果と課題の検証 ・導入費用の算出、予算設定、導入準備	・新制度導入(費用対効果の高いもの) ・時間外勤務時間数、年間総勤務時間数の検証
②政策におけるデータ利活用(EBPM)の推進	・EBPM対象事業3件選定、実施	○試験導入対象事業の選定 データを基に改善を求める事業(1事業)について選定検討	・課長級研修の実施 ・試験導入対象事業の選定 ・市保有データの整理	・新規事業での効果検証導入
③窓口サービスの向上検討	・窓口別の理想的処理時間、平均処理時間の検証と短縮 ・電子申請などによる「行かない窓口」等の拡大 ・待ち時間の活用法検討	○既存窓口の代替サービス検討、検証 →電子申請による「行かない窓口」の種類拡大 ○窓口に関する市民アンケートの実施 ○証明書交付に係る「書かない窓口」(らくらく証明書交付サービス)の導入	・窓口業務の偏り確認 ・「行かない窓口」(電子申請)を応用した「書かない窓口」の導入検討	・新システム導入(費用対効果が高いもの)
④オープンデータによる情報発信の拡大	・自治体標準オープンデータ公表 ・既存データ状況の把握 ・行政データの政策への反映	○自治体標準オープンデータの発信 →一部オープンデータの公開	・自治体標準オープンデータの発信拡大 ・保有データのEBPMへのフィードバック ・発信効果の大きいデータの検討、公表	・保有データのEBPMへのフィードバック ・発信効果の大きいデータの検討(継続)、公表